

ベルギーの絵本作家

ここで紹介するのは、ほんの一部のベルギー人絵本作家です。すでに日本語にも翻訳されているので、オリジナル版を購入して、日本語版と比較しながら読むと、語学学習にもなりますね。お子さんには日本語で、大人はオリジナル言語での絵本を読んで、ベルギー生活の宝物にしてはどうでしょうか？

ガブリエル・バンサン Gabrielle Vincent

www.fondation-monique-martin.be

1928年ブリュッセル生まれ、2000年没の女性絵本作家・イラストレーター。本名モニック・マルタン。画家としての活動をはじめ、1980年から子ども用絵本の制作を開始し、『くまのアーネストおじさん(Ernest et Célestine)』シリーズを出版して、絵本作家として世界的知名度を上げ、数々の賞を受賞する。

2012年、このシリーズは映画化され日本でも上映された。また、40冊近くの絵本が日本語に翻訳され、親しまれている。デッサンを得意としていた彼女の線描は、作品の中に生き生きと現れている。



ヒド・ファン・ヘネヒテン Guido Van Genechten

<http://users.skynet.be/fa312962/engels/htm/thuis.htm>

1957年、モル(Mol-アントワープ州)生まれ。モル美術アカデミーで絵画、グラフィックアート、写真を学び、長年グラフィック業界で働いた。その後、1998年に「わらって！リッキ(Rikki)」を出版し、ハッセルト市の国際絵本賞を受賞した。主人公Rikkiは、作者の弟Rik(Erik)の名前から来ている。というのも、イラストレーションの仕事が始めたときに、ウサギの粘土細工を作り、乾かしているときに片方の耳が傾いた。弟のRikがそのウサギを見て感動してくれた。という出来事があったため、ウサギRikkiが誕生した。以来児童書のイラストレーターとして世界的キャリアを歩み続ける。



ヴァレリー・ダール Valerie d'Heur

www.mijade.be/d_Heur_Valerie/index.html?lang=en&image=208

1969年ブリュッセル生まれの女性絵本作家。グラフィックを学び、広告業界で働いた後、絵本作家・イラストレーターとしての道を歩む。閑静な田舎で息子アリックス(Alix)の反応を見ながら、作品を生み出している。2005年、『だじょうぶだよゾウさん(Vieil éléphant)』でSaint-Exupéry賞を受賞する。その他、『くもをおいかけごらん、ピープー(Le Coeur dans la poche)』など動物が主人公の絵本が日本語に翻訳されている。



この他にも、絵本作家のクロード・K・デュボア(Claude K. Dubois)、アンネ・エルポー(Ane Herbauts)、マリオ・ラモ(Mario Ramos)、トム・スカンプ(Tom Schamp)、イタイラストレーターのサビーン・クレメント(Sabien Clement)、カルル・クヌート(Carlil Cneut)、キティ・クロザー(Kitty Crowther)、ヘルダ・デンドーヴェン(Gerda Dendooven)、イングリッド・ゴドン(Ingrid Godon)、カンタン・グレバン(Quentin Gréban)、トム・スコーンオーヘ(Tom Schoonoooghe)、クラス・ヴェルプランケ(Klaas Verplancke)など多くのベルギー人が活躍しており、日本語に翻訳されているものもある。日本ではベルギー絵本作家展が開催され、ベルギー絵本が人気を集めている。

プチボワ参考記事：アンネ・エルポー <http://petits-pois.be/archive3/articles/2010/10/1.html>

和食レストラン 従業員募集

ブリュッセルの和食レストランが、日本人、または日本語の話せる人を探しています。料理のできる方、給仕のできる方。フルタイム、ハーフタイム、短時間勤務などご希望に合わせます。詳細は☎0479 79 94 70まで(日・英・仏)

ASHIDAJUNKO



美容室

Open: 火-金 10:00~18:00
土曜 9:00~17:00

Close: 日曜 月曜 祭日

Services: トリートメント カラー パーマ
縮毛矯正 デジタルパーマ
着付け

www.ashidajunko.be
02 / 640 89 83 102, rue Washington 1050 IXELLES